

令和5年2月28日  
国土交通省中部地方整備局  
新丸山ダム工事事務所

## 「第4回新丸山ダム水源地域協議会」を開催します

「新丸山ダム水源地域協議会」は丸山ダム周辺における自然、文化、伝統等の地域資源とともに、新丸山ダム建設に伴う基盤整備等を活用して、新丸山ダム周辺地域（瑞浪市、恵那市、八百津町、御嵩町）の地域振興の推進を目的に開催しています。

今回は、これまでの議論を踏まえ、「新丸山ダム周辺地域振興ビジョン」をとりまとめる予定です。本ビジョンは、中長期的・広域的な視点に立って、様々な主体と幅広い分野において連携を図り、ダム周辺地域の魅力を継続的に高める地域振興についての基本的な考えをとりまとめています。

### <開催概要>

日時：令和5年3月7日（火） 13時30分～15時00分

場所：八百津町ファミリーセンター（中央公民館） 講義室（八百津町八百津 3827-1）

### <配布資料>

資料1：第4回 新丸山ダム水源地域協議会 議事次第(案)

資料2：第4回 新丸山ダム水源地域協議会 概要資料

資料3：新丸山ダム周辺地域振興ビジョン【全体構成】(案)

### <その他>

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、座席の間隔を空ける等、必要な対策を講じます。
- ・取材には、事前登録が必要となります。取材をご希望の方は、別紙「取材登録書」を、ご記入のうえ、メールまたはFAXにて送付をお願いします。
- ・撮影等に当たっては、協議会の円滑な進行にご協力ください。
- ・取材される方におかれましても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用にご協力いただきますよう、よろしくお願いします。
- ・過去の新丸山ダム水源地域協議会の検討資料等は、以下のホームページに掲載しております。

[https://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/415\\_suigentiiki/main.html](https://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/415_suigentiiki/main.html)

### <配布先>

美濃加茂記者クラブ、可児記者クラブ

【問い合わせ先】

新丸山ダム工事事務所 副所長

調査課長

TEL (0574) 43-2780

ミウラ ヒロサダ

三浦 弘禎

モリタ シンタロウ

森下 慎太郎

（開庁時間： 8時30分 ～ 17時15分）

## 第4回 新丸山ダム水源地域協議会

開催日時：令和5年3月7日（火）13：30～15：00

開催場所：八百津ファミリーセンター2階 講義室

### 議 事 次 第（案）

1. 開 会

2. 開催挨拶

3. 議事

（1）新丸山ダム周辺地域振興ビジョン（案）について

（2）魅力をつなぐプロジェクト（仮称）に関する今年度の検討報告について

4. 令和5年度の予定について

5. 閉 会

## 新丸山ダム水源地域協議会 概要資料

## ○設立目的

丸山ダム周辺における自然、文化、伝統等の地域資源とともに、新丸山ダム建設に伴う基盤整備等を活用して、新丸山ダム水源地域（瑞浪市、恵那市、八百津町、御嵩町）の振興に資する効果的な施策を検討するために設置するものである。

## ○協議会委員名簿

所 属	氏 名
瑞浪市長	ミスノ コウジ 水野 光二
恵那市長	コサカ タカネ 小坂 喬峰
八百津町長	カネコ マサノリ 金子 政則
御嵩町長	ワタナベ キミオ 渡邊 公夫
関西電力(株)東海支社 理事・東海支社長	コモリ ヒロユキ 小森 浩幸
国土交通省中部地方整備局 木曾川水系ダム統合管理事務所長	ワタナベ シンヤ 渡邊 伸也
国土交通省中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所長	カノウ ケイジ 加納 啓司

## ○経緯

年 月 日	内 容
平成29年8月25日	第1回 新丸山ダム水源地域協議会
平成30年11月21日	第2回 新丸山ダム水源地域協議会
令和4年9月20日	第3回 新丸山ダム水源地域協議会
令和4年11月1日	令和4年度 第1回ワーキンググループ
令和4年12月6日	令和4年度 第2回ワーキンググループ
令和5年1月24日	令和4年度 第3回ワーキンググループ
令和5年3月7日	第4回 新丸山ダム水源地域協議会 新丸山ダム周辺地域振興ビジョンとりまとめ

## 第1章 新丸山ダム周辺地域を取り巻く社会の変化

### 1. 社会情勢の変化

- (1) 少子高齢化のさらなる進行
- (2) ライフスタイルの変化
- (3) デジタル社会の進展
- (4) カーボンニュートラルへの対応
- (5) 水災害の頻発化・激甚化

### 2. 周辺環境の変化

- (1) 新丸山ダム建設事業に伴う交通インフラの整備
- (2) リニア中央新幹線及び新駅整備の計画

### 3. 新丸山ダム建設事業の目的

## 第2章 新丸山ダム周辺地域の主な特徴

### 1. 新丸山ダム周辺地域の強み

- (1) 豊かな自然環境
- (2) 固有の歴史・文化
- (3) 充実した交通インフラ・ネットワーク
- (4) 国内外に発信できる価値の高い観光資源

### 2. 新丸山ダム周辺地域の課題

- (1) 観光スタイル
- (2) 受け入れ体制
- (3) 観光資源の連携

## 第3章 新丸山ダム周辺地域の目指す地域振興

### 1. 基本的な考え方

- ◇豊かな自然環境や日本らしい美しい景観、固有の歴史・文化、価値の高い観光資源など豊富な地域資源を有する新丸山ダム周辺地域を一つの地域と捉え、**資源を磨き、発掘し、つなげて周辺地域全体の魅力を高める。**
- ◇2市2町とダム関係機関が**魅力ある地域資源を共有**し、地域間相互に補完・連携した活動と充実した交通・情報通信ネットワークの形成により**周辺地域全体の満足度を向上**させ、地域の寛容性を高め、国内外からの来訪者や移住者、地域や地域の人々と関わる人口を増やす。
- ◇「人」「物」「情報」の交流が活性化し、**新たな来訪者や移住者の増加により消費行動が高まり**、新たなライフスタイルへの適応により幅広い分野においてビジネスチャンスが生まれ、企業活動が促進され、**持続的に地域経済の好循環を生み出す。**

### 2. 目指す地域振興

#### (1) 資源を磨き、発掘し、つなげる (魅力を高める)

- 自然環境が豊かで、日本らしい美しい景観や原風景が残されている地域。
- 歴史的な文化財や伝統芸能が長く地域に親しまれ、大切に受け継がれている地域。
- 地域の風土と歴史に育まれた食文化のブランド化が展開されている地域。
- 多様で豊富な地域資源を活かし、保有する地域資源をさらに磨きをかけて優れた資源に成長させる。
- 新たな資源を発掘し育て、地域らしさを大切にする。
- 多様な資源をつなげてネットワーク化することにより、新丸山ダム周辺地域の魅力を高める。

#### (2) 来訪者や関係人口を増やす (人を集める)

- 関係する行政機関や経済団体等が連携し、様々な取り組みに付加価値を与え**周辺地域全体の満足度を高める。**
- 充実した交通インフラ・ネットワークの形成により、利便性は向上し、地方への関心や興味が高まり、新たな来訪者や移住者を呼び込む。
- 多様な人々が暮らしやすく、訪れやすい支援を広げ、地域全体の寛容性を高める。
- 防災・減災対策や地球温暖化対策を進め、地域で暮らす人が豊かに暮らし、賑わいのある地域をはぐくむ地域振興により、**自らの地域への愛着・誇りを醸成する。**

#### (3) 地域経済の好循環を生み出す (消費の活性化)

- 国内外からの来訪者の消費を促すために情報発信力を向上し、サービス、製品の**付加価値を高め消費行動を高める。**
- 地域の特徴を活かしたブランドを形成し、社会情勢の変化にあわせたターゲティング、ブランディングを行う。
- 幅広い分野において新しいニーズに対応したサービス、商品開発を行い、リピーターの創出につなげ**持続的に地域経済の好循環を生み出す。**

## 第4章 地域振興の実現に向けて

### 1. 基本的な考え方

- ◇新丸山ダム周辺地域の地域振興の実現に向けて、**2市2町と新丸山ダム関係機関が中心となり**、他の自治体や地域の事業者等の取り組みを意識し、総合的な効果が発揮されるよう、**様々な主体と横断的に連携して地域振興を進める。**
- ◇2市2町の連携により相乗効果が期待される地域振興施策については、具体的な行動計画として「魅力をつなぐプロジェクト」と位置づけ、行政、商工会、地域の住民等が組織や**分野の垣根を越えた強固な協働により取り組みを進める。**
- ◇**新丸山ダム周辺地域の魅力を高め地域の満足度を継続的に高める地域振興は**、木曾川流域内の連携と交流によるバランスの取れた**流域圏の発展に寄与する。**

### 2. 魅力をつなぐプロジェクト

- ◇2市2町が連携して取り組みを加速化させる**具体的な地域振興施策を「魅力をつなぐプロジェクト」として取りまとめる。**
- ・現状の地域資源を活かした施策に加え、将来的な構想や計画段階の施策も含める。
- ・地域振興施策を実施する推進主体、体制、工程、プラン提供ターゲット、連携主体、連携する上での留意事項等をアクションプランとして取りまとめ実践していく。
- ・**社会情勢の変化や地域のニーズ等**を意識し、柔軟に追加、見直しを行い、**持続可能な地域振興を展開する。**

「第4回新丸山ダム水源地域協議会」取材登録書

取材をご希望の報道機関におかれましては、事前にご登録をお願いいたします。  
なお、取材の際には、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクを着用していただきますよう、よろしくお願いいたします。

送信期限：3月6日（月）12時00分まで

1. 報道機関名 \_\_\_\_\_

2. 取材者等

（1）お名前 \_\_\_\_\_

（2）ご連絡先 \_\_\_\_\_

（3）取材人数 \_\_\_\_\_

3. 送信先（メールアドレス） cbr-shinmaru@mlit.go.jp

（ F A X ） 0574-43-2591

※今回、ご記入いただきました個人情報については、「第4回新丸山ダム水源地域協議会」以外には使用致しません。

以上